

令和4年産(3年播)麦生育情報 No.3 (R4.2.22)

(情報作成)滋賀県農業技術振興センター

(次回は3月下旬の予定)

滋賀県近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

1 気象経過と生育状況

① 気象の経過 (彦根気象台、平成24～令和3年の平均値との比較)

要素		平均気温	日照時間	降水量
期間				
1月	上旬	低い	多い	やや多い
	中旬	低い	やや少ない	多い
	下旬	平年並	平年並	かなり少ない
2月	上旬	やや低い	平年並	平年並
	中旬	低い	平年並	平年並

注) 平均気温 <±0.5℃:平年並、±0.5～1.0℃:やや高い(低い)、±1.0～2.0℃:高い(低い)、±2.0℃<:かなり高い(低い)
 日照時間 <±5hr:平年並、±5～10hr:やや多い(少ない)、±10～15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)
 降水量 <±10mm:平年並、±10～20mm:やや多い(少ない)、±20～30mm:多い(少ない)、±30mm<:かなり多い(少ない)

② 生育状況

農業技術振興センター麦類作況調査(11月5日播種)では、「農林61号」「ふくさやか」「びわほなみ」の茎数は平年より10～22%少なく、草丈は19～34%短い。葉数は「農林61号」は平年並、「ふくさやか」は平年より0.2枚多く、「びわほなみ」は0.4枚少ない(表1、後掲グラフ)。

表1 令和4年産(3年播)麦類作況調査の結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種名	年次	1/13 調査			2/15 調査		
		茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉数 (枚)
農林61号	R4年産 (平年比)	670 (102)	16.1 (83)	4.9 (±0)	628 (86)	18.6 (81)	6.0 (±0)
	平年値	660	19.5	4.9	732	23.0	6.0
ふくさやか	R4年産 (平年比)	488 (81)	16.0 (86)	5.2 (+0.1)	518 (78)	17.6 (79)	6.4 (+0.2)
	平年値	600	18.6	5.1	668	22.4	6.2
びわほなみ	R4年産 (平年比)	738 (84)	13.2 (70)	5.3 (±0)	854 (90)	16.4 (66)	6.4 (-0.4)
	平年値	878	18.8	5.3	946	25.0	6.8

※播種日は、令和3年11月5日。

※平年は平成24～令和3年産(平成23～令和2年播)の10年間の平均値。

※「びわほなみ」の平年は平成28,30年～令和3年産(平成27,29年～令和2年播)の5年間の平均値。

※播種様式は条播(条間25cm)、播種量は8kg/10a。

☆2月15日現在の小麦の生育状況(農技センター作況調査)



「農林61号」



「ぶくさやか」



「びわほなみ」

2 県内の状況

- 1月から2月中旬までの気温が低く、分けつは少ない。また、県北部の根雪となっているところでは、生育がかなり遅れている。

3 今後の管理

(1) 追肥(穂肥)

①速効性肥料の分施(基肥—追肥—**穂肥**—実肥)体系の場合

- 分けつが平年より少ないことから、穂肥は2月中に施用する。なお、農林61号で茎数が多い場合は、過剰分けつを抑制するために、施肥量をやや減量し、生育の調整を図る。

②基肥—発体系の場合

- 基肥—発肥料(緩効性肥料)を施用している場合でも極端に葉色が落ちているところは、3月上旬までに窒素成分で2kg/10aを限度に追肥する。

③融雪後の施肥

- 分施体系(上記①の場合)で、積雪のため穂肥が施用できなかった場合は、融雪後、なるべく早く穂肥を施用する。

- 基肥一発肥料体系であっても、積雪下で止まっていた生育を促進するため、融雪後に追肥（窒素 2 kg/10 a）を施用する。追肥を施用した場合、実肥の施肥量を調整する。
- 融雪後に追肥や穂肥を施用する場合は、地表面に溜まった融雪水を排水したのちに実施する。

（参考）平年の穂肥施用の考え方（速効性肥料の分施体系の場合）

品 種	穂肥の施用基準		備 考
	施用時期	穂肥量 (kgN/10a)	
農林 6 1 号	2 月下旬～3 月上旬	2 ～ 3 kg	葉色が淡いまたは茎数が少ない場合は、基準の範囲内で早める。
ふくさやか	2 月下旬～3 月上旬	4 kg	
びわほなみ	2 月下旬	4 kg	

※農林 6 1 号では、施用時期の茎数の目安は 700 本/㎡で、多ければ穂肥量を少なめとする。

（２）排水対策

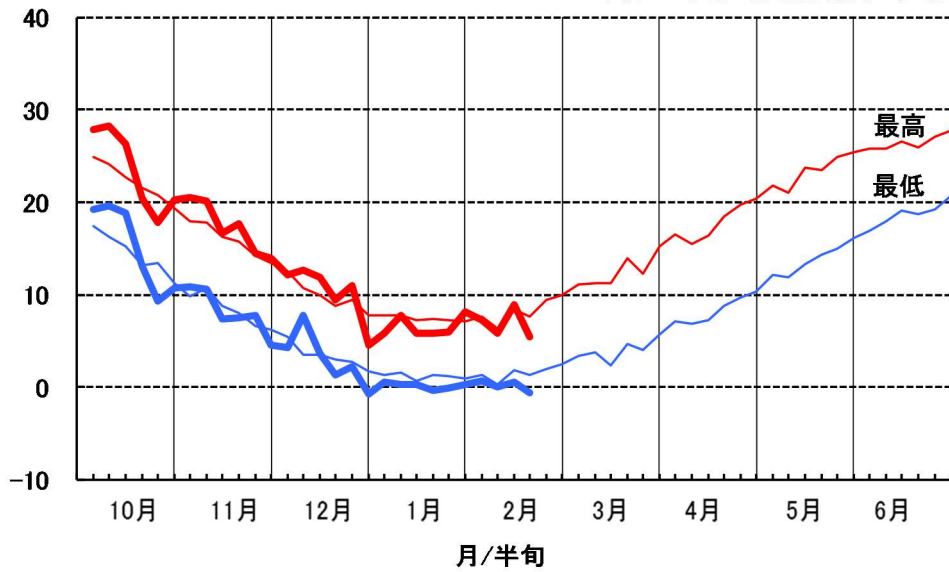
- 融雪水などの滞水による排水不良は、根の伸長が不十分となって登熟不良にもつながるため、溝に水がたまっただまの状態にならないよう、溝さらえを行うなど徹底した排水対策を講じる。

【参考サイト】

農業技術振興センター	http://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/
病虫害防除所	http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/
彦根地方気象台	http://www.jma-net.go.jp/hikone/
早期天候情報	http://www.jma.go.jp/jp/soukei/

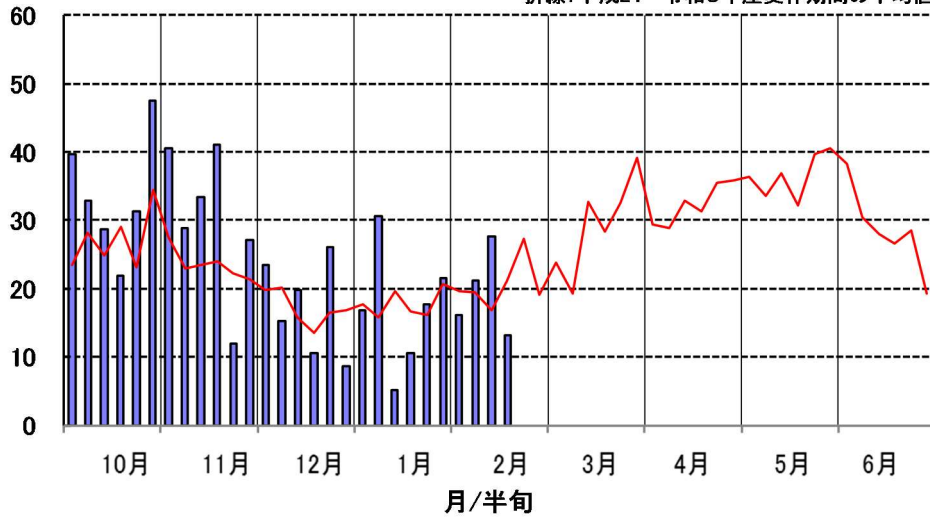
令和4年産(令和3年播) 麦作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)

(°C) 【気温の推移(最高気温、最低気温)】 本年(令和4年産) 平成24~令和3年産麦作期間の平均値



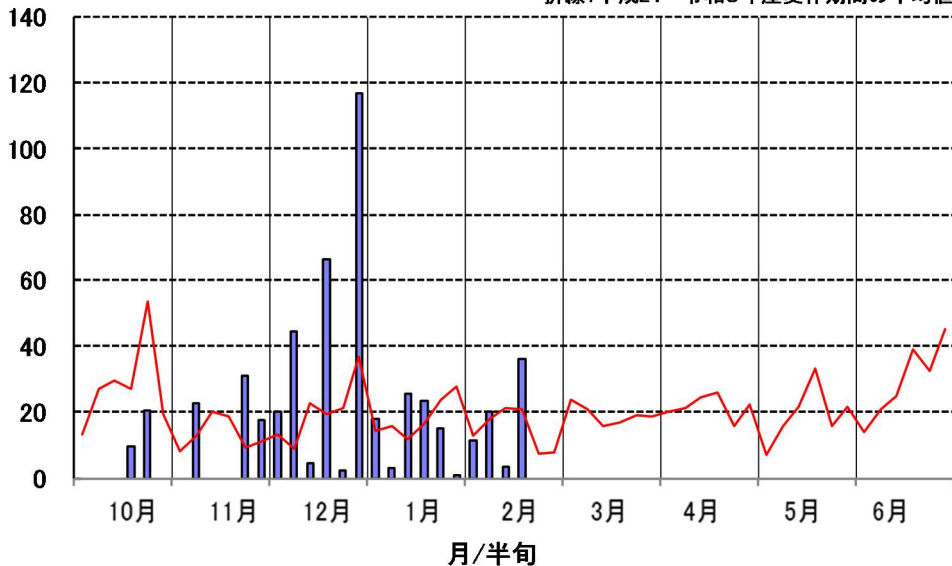
(hr) 【日照時間の推移】

棒線: 本年(令和4年産) 折線: 平成24~令和3年産麦作期間の平均値



(mm) 【降水量の推移】

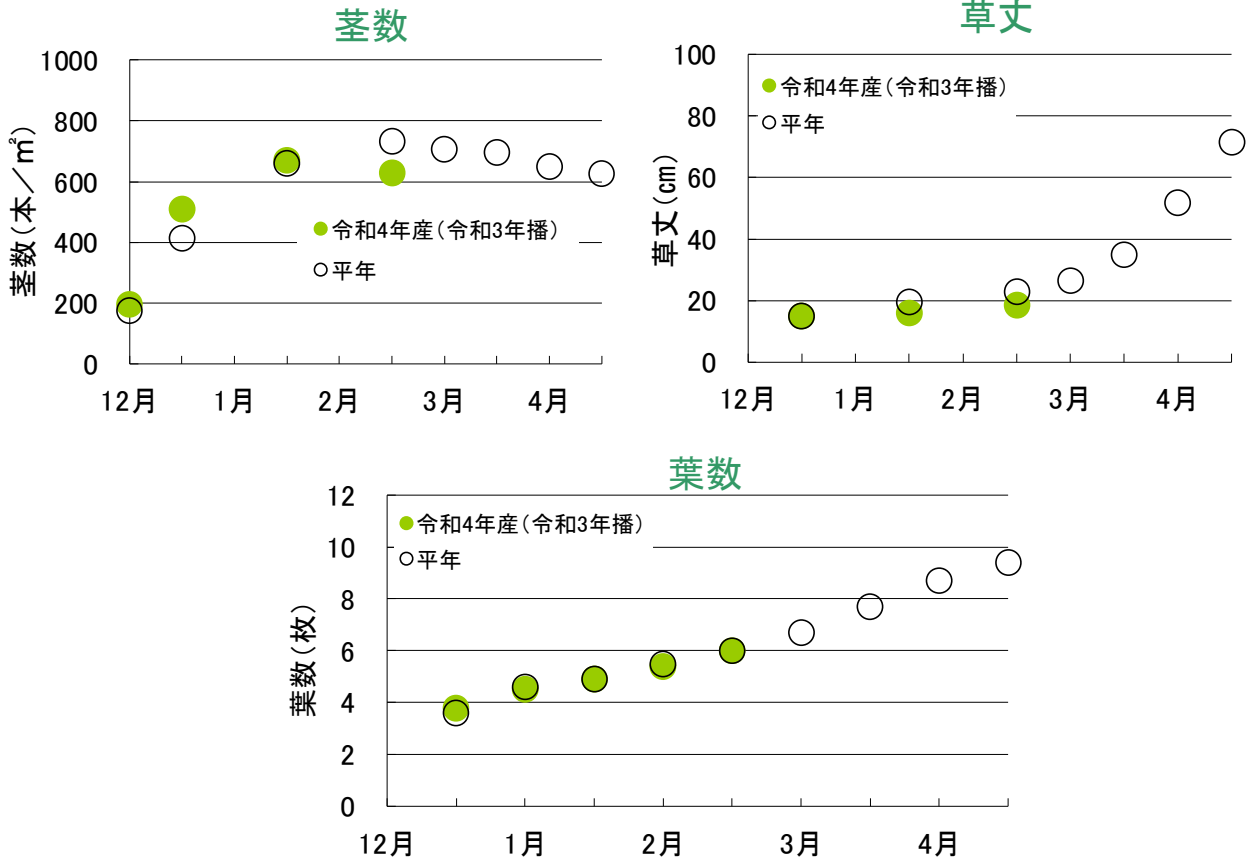
棒線: 本年(令和4年産) 折線: 平成24~令和3年産麦作期間の平均値



令和4年産生育調査結果(1)

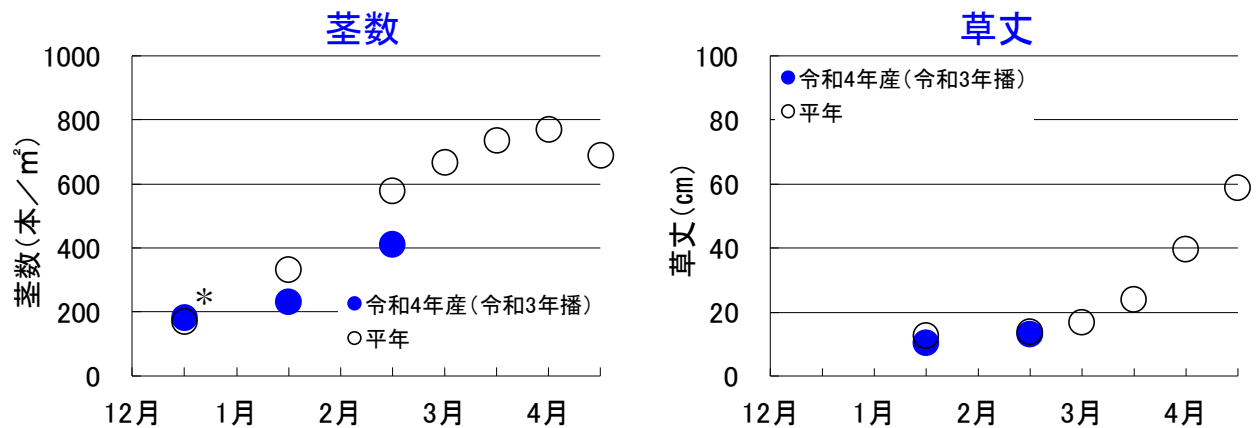
「農林61号」

令和3年11月5日播



(参考)

令和3年11月19日播



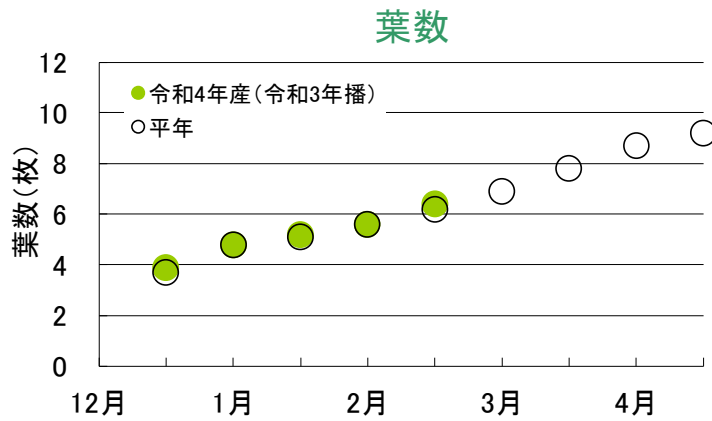
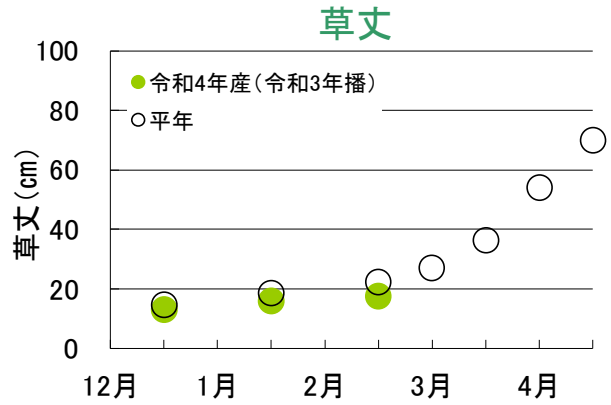
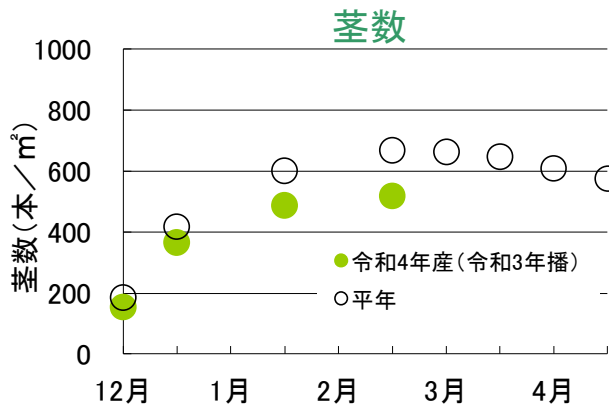
* 出芽後の苗立数を調査。

※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成24～令和4年産(平成23～令和3年播)の10年間の平均値。

令和4年産生育調査結果(2)

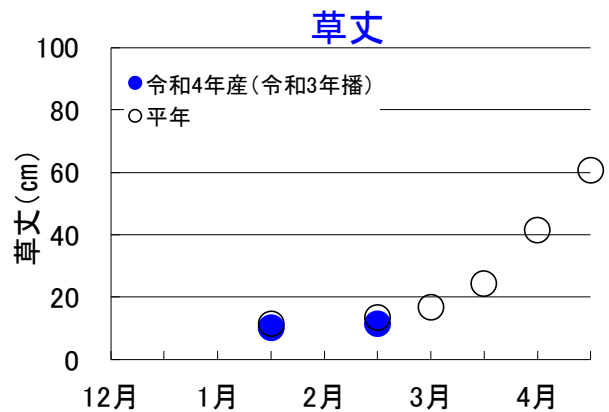
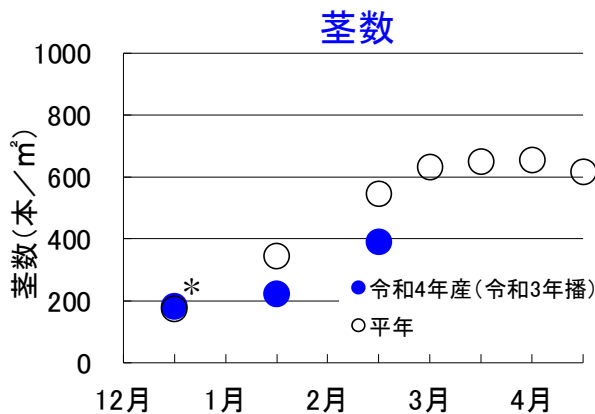
「ふくさやか」

令和3年11月5日播



(参考)

令和3年11月19日播



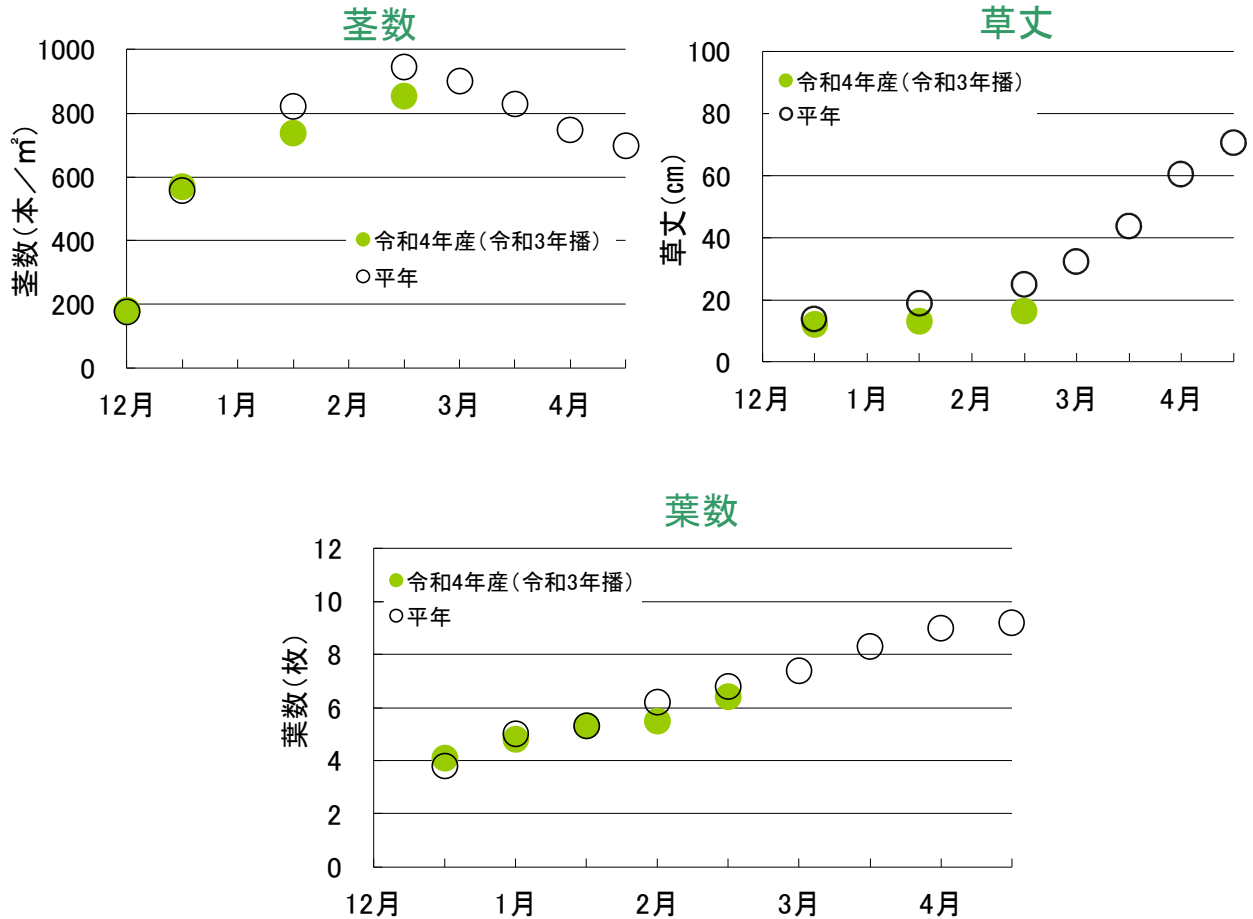
* 出芽後の苗立数を調査。

※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成24～令和4年産(平成23～令和3年播)の10年間の平均値。

令和4年産生育調査結果(3)

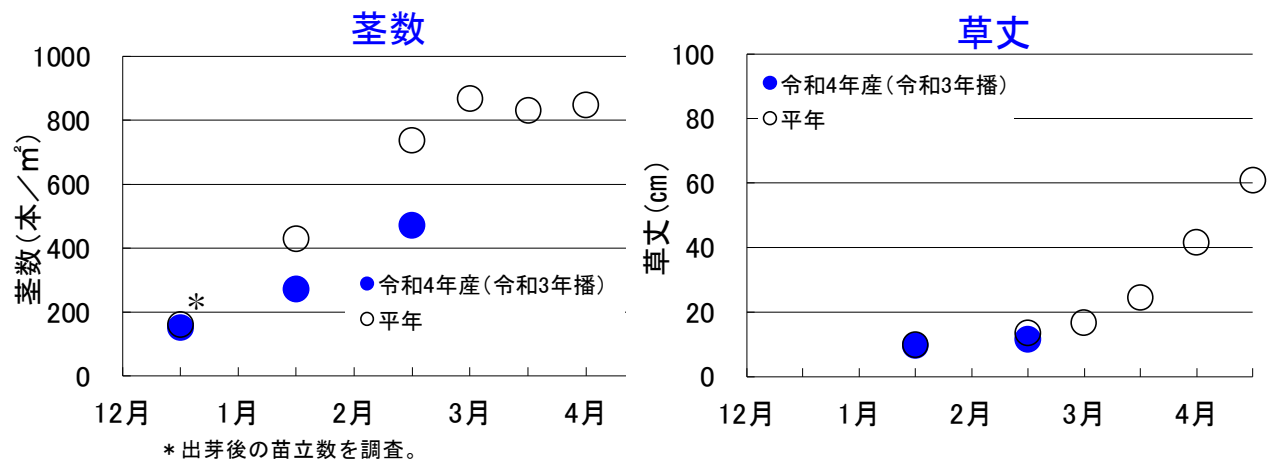
「びわほなみ」

令和3年11月5日播



(参考)

令和3年11月19日播



※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28,30～令和3年産(平成27,29～令和2年播)の5年間の平均値。